



沼田消防演習を開催します！ぜひご覧ください！！

1 目 的

この演習は、消防職団員の士気を高揚させ、併せて地域住民の防火思想の普及向上を目的として開催しております。

2 日時、場所

令和6年7月10日（水）13時30分～ 沼田町役場前駐車場

3 演習の見所

- 消防ポンプ車や小型ポンプを使用しての「ポンプ操法訓練」
- 火災を想定した「模擬火災訓練」や「一斉放水」
- 街の中心を職団員や消防車が進行する「分列行進」



▲ポンプ操法訓練の様子

※演習の実施にあたり、町民の皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

正しく使おう！家庭にあるガソリン携行缶！

ガソリンは燃料として、発電機や草刈り機等に使用され、私たちの生活に身近な存在です。

しかし、ガソリンは揮発性が高く、特に気温が高い夏は、可燃性の蒸気が多く発生する大変危険な物質です。

夏本番を迎えるにあたり、今一度、身の回りにおけるガソリン携行缶の安全な使用、保管方法を再確認し火災を未然に防ぎましょう。

平成25年京都府福知山市の花火大会で爆発事故が発生し、死者3名、負傷者56名の被害が出ました。

原因は、真夏の炎天下で長時間直射日光に当たったガソリン携行缶の蓋を、エア抜きをすることなく開放したことにより、ガソリンの可燃性蒸気が周囲に大量に拡散し、引火したためです。



▲ガソリン携行缶取扱いについて QR コード

正しく使おう！
ガソリン携行缶
5つのポイント

危険性について ガソリンは気温が-40℃でも酸化し小さな火源でも、離れていても引火し爆発的に燃焼する物質です。 	容器について 灯油用ポリエチレンかんにガソリンを入れることは非常に危険です。 	購入について セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません。
保管について ガソリンを容器に入れて、長期間、または不必要に保管することは極力控えてください。 	噴出事故防止について ガソリン噴出は事故につながります。取扱いには十分注意してください。 	ラベルのついた確かな製品を選びましょう

これが安心の印です
「試験確認済証」
このつばは、危険物保安技術協会が実施した自費性能試験に合格したガソリン携行缶に貼付されています。

KHK 危険物保安技術協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-13ヒューリック神谷町ビル
TEL. 03-3436-2353

<http://www.khk-syoubou.or.jp/>
危険物保安技術 検索
携帯・スマートフォンはこちらから

沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。
『火の用心 「後で」と「今」で 変わる未来』

